



関西本線

ウォーキングガイド

くわな

桑名駅 編

コースガイド

▶ ウォーキング距離：約 6 km

▶ 参考所要時間：約 3 時間

歴史と文化を訪ねる散策コース

桑名市は、三重県の北部に位置する人口約 14 万人の都市です。木曽三川の水郷地帯や多度山系の豊かな緑といった恵まれた自然環境を擁し、高速道路や国道、鉄道など、主要幹線が集中する交通の要衝であり、また江戸時代より東海道五十三次の宿場町、城下町として栄えた歴史と文化を持つまちです。

みどころいっぱいの桑名のまちを、ぜひゆっくりお楽し
みください。



沿線のイベント

見て!

楽しい! 来て!

桑名 三八市

江戸時代、東海道五十三次の宿場町として、多くの人や物が行き交った桑名。

桑名別院本統寺の門前商店街として発展した寺町通り商店街では、名物朝市「三八市」が昭和のはじめから現代まで続いている。

三八市は毎月 3 と 8 がつく日に開催され、朝早くから大勢の買い物客で賑わいます。南北 200m に渡るアーケード内は、商店街のお店に加え、近隣の農家や露天商などが軒を連ね、新鮮な野菜や魚介類の周りには威勢のいい掛け声が飛び交っています。

商店街の中に 2012 年 10 月にオープンした「くわなまちの駅」では、地元の新鮮野菜や桑名の土産物、名産品を数多く販売しています。



桑名市の特産品

■しぐれ蛤

しぐれ蛤は、桑名名物の蛤をたまり醤油で煮しめてつくります。日持ちするおみやげとして観光客の人たちに大変喜ばれています。



■桑名盆（かぶら盆）

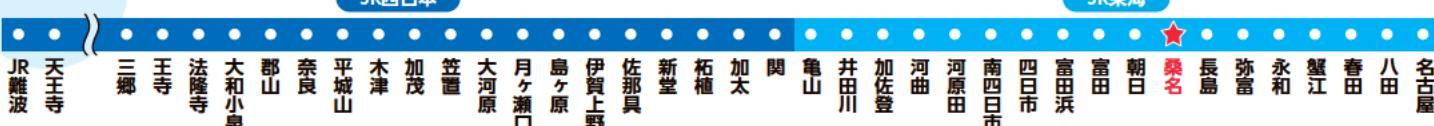
丸盆にかぶらの絵が描かれたもので、老中松平定信にこよなく愛され、幕府にも献上されています。かぶらの丸は家庭円満を、根ひげは子孫繁栄にたとえられ、縁起ものとしても重宝されたそうです。



関西本線 全路線図

JR西日本

JR東海



達磨寺（奈良県・王寺町）



岩船寺（京都府・木津川市）



九華公園（三重県・桑名市）



森津の藤（愛知県・弥富市）



おすすめコース

桑名駅



徒歩約15分

1 薩摩義士墓所（海蔵寺）

宝暦3年（1753）に幕府より薩摩藩は
揖斐・長良・木曾三大河川工事を命ぜられました。宝暦5年に工事は完成しましたが、多くの犠牲者と巨額の経費がかさんだことから工事総奉行平田朝貢は自刃しました。犠牲となった義士は岐阜・三重県下14ヶ寺に埋葬され、ここには平田朝貢他21墓の墓石が現存し、市指定史跡となっています。



2 六華苑

鹿鳴館の設計で有名なイギリス人建築家ジョサイア・コンドルによる四層の塔屋を持つ、木造二階建ての洋館と、和風建築及びその前庭の池泉回遊式庭園などがあり、明治・大正期を代表する貴重な文化遺産として国の重要文化財に指定されています。また庭園は一部を除き国の名勝に指定されています。

3へ 徒歩約15分

徒歩約15分

3へ 徒歩約15分

徒歩約15分

3へ 徒歩約15分

徒歩約15分

3 七里の渡跡

揖斐河川口にあり、東海道五十三次の四十二番目の宿場町・桑名と尾張熱田の宮は東海道唯一の海路でつながっており、その距離が七里あったことから「七里の渡し」と言われました。これより伊勢国に入るため、この大鳥居は「伊勢国一の大鳥居」と称されています。平成27年春、20年に1度の建て替えが行われました。

徒歩約2分

4 蟠龍櫓

5へ 徒歩約8分

河口町にある七里の渡跡に面して建てられた河口の町桑名を象徴する蟠龍櫓。かつては東海道を行き交う人々が必ず目にした桑名のシンボルを忠実に復元しました。かの有名な歌川広重の浮世絵「東海道五十三次」でも海道の名城と謳われた桑名を表すためにこの櫓を象徴的に描いています。



ウォーキング MAP



お問い合わせ

桑名市物産観光案内所

TEL : 0594-21-5416

FAX : 0594-21-5416